

私たちの身の回りには多様なモノが存在し、そのなかには過去から引き継がれた伝統を、また同時代の他者と関わりを示すモノもあり、ヒトの営みの時空的広がりが理解できます。本年度は社会の基盤を支えるヒトとヒトの絆を表徴する資料、地域の伝統的な民芸文化、新しい宗教が誕生する時代背景を映す展示などを企画しました。様々な特徴ある文化を学ぶことで、今日の混乱を乗り越え希望ある未来社会の指針を思い描いてみてください。 顧問 松田真一

親子、夫婦、友人など、お互いをかけがいのない存在として認識し、共に支え合う関係性の中で作られる、使用される、伝承されるモノを幅広く展示し、地域や時代を超越した人間の普遍的な営みである

「絆」を物質文化から浮き彫りにしようという企画展です。目に見ることはできなくても、人々の間に確実に存在する絆について改めて見つめ直し、これからの社会のあり方について考える機会になることを願っています。

天理大学創立百周年記念・第98回企画展



長椅子で対談する
人物像 メキシコ
5～7世紀

「絆—ヒトとヒトをつなぐモノ—」

4/16(水)～6/2(月)

「こけし」と聞けば、にっこりほほえんだ顔と胴体だけのシンプルなかたちが頭に思い浮かぶと思います。しかし、実は地域ごとに特徴がある個性派揃いです。その特徴を示すのが系統で、今回は遠刈田系、土湯系、中ノ沢系の3系統のこけしを取り上げます。遠刈田系は宮城県蔵王東麓にある遠刈田温泉を中心に作られるこけしです。ベレー帽をかぶったように見える土湯系、どんぐり眼の中ノ沢系などそれぞれの魅力をご紹介します。

第99回企画展



遠刈田系こけし
左端 宮城県
大正末～昭和初
佐藤直助工人

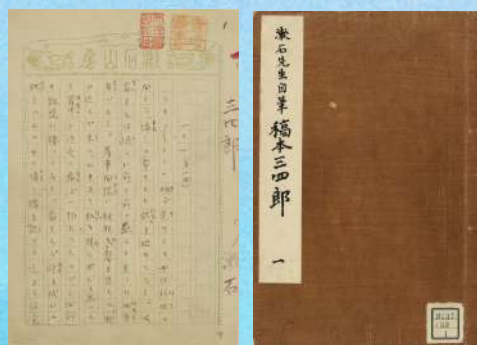
「こけしⅡ—遠刈田と土湯・中ノ沢—」

7/23(水)～9/8(月)

「漱石・子規・鷗外—文豪たちの自筆展—」

10/15(水)～11/17(月)

天理大学創立百周年記念・天理図書館開館95周年記念展



三四郎
夏目漱石自筆

明治時代に活躍した夏目漱石・正岡子規・森鷗外は、後世において文豪と呼ばれています。本展では、天理図書館が所蔵する多数の近代文学資料より漱石・子規・鷗外の自筆資料を展示します。自筆原稿は、作家や作品研究において第一級の資料で、その紙面からは、今でも彼らの息づかいが聞こえるようです。本展を通じて、同時代を生きた三人の人生の一端に触れていただけたら幸いです。

「幕末明治の暮らし」

1/5(月)～3/9(月)

教祖140年祭記念・第100回企画展



さまざまな農具
左奥 唐箕
奈良 明治

幕末・明治のころの庶民のくらしを道具や絵図などを通して垣間見ます。この時代は天保飢饉、ええじゃないか運動、明治維新、廃仏毀釈などに象徴されるように、激動期でした。自然災害や社会変動に振り回されながらも、日常生活を力強く生き抜いた庶民の姿にスポットを当てます。こうした人々に寄り添い、力づけ、そして生かされている喜びを教えられたのが教祖でありました。

開催日	日程	タイトル	講師
第317回	5月16日(金)	『絆』を可視化するモノ	梅谷 昭範
第318回	6月27日(金)	文字を描かない北京の看板「幌子」(ホァンツ)	中尾 徳仁
第319回	7月23日(水)	こけしの魅力—遠刈田・土湯・中ノ沢それぞれの特色—	幡鎌 真理
第320回	9月18日(木)	日本列島と中国大陆の古墳 —埋葬主体部構造・プランの比較文化論—	江 介也
第321回	10月23日(木)	シュメールの閃緑岩製彫像—グデア像と婦人像—	間舎 裕生
第322回	11月21日(金)	古代アンデスの冶金	荒田 恵
第323回	1月23日(金)	江戸から明治にかけて庶民生活のリアル—大和国編—	幡鎌 真理
第324回	3月6日(金)	天理教団体輸送の歴史—おちばがえりと天理臨—	乾 誠二

奈良国立博物館開館130年・天理大学創立100周年記念 特別展

「世界探検の旅—美と驚異の遺産—」(会場：奈良国立博物館)
7/26(土)～9/23(火・祝)

世界中から集められた天理参考館の30万点にのぼる膨大なコレクションの中から厳選した作品群と、奈良国立博物館所蔵の仏教美術作品などを組み合わせ、人類の約6000年に及ぶ歴史を探究する展覧会。

「文明の交差する世界」「神々と摩訶不思議な世界」「追憶の20世紀」の3つの章で構成し、考古資料や民族資料を中心に約220件を展示します。なかには世界でも当館のみが所蔵する稀少な作品や初公開の作品も含まれます。この夏、時空を超えた世界探検の旅にどうぞご期待ください。



マンデートーク 1 12:30～12:50 2 13:00～13:20

展示室1つのコーナーを説明

同じコーナーで深掘り解説

テーマごとに学芸員が展示品の解説をします！

- ◆毎月2回、月曜日に開催します（祝日および7/26～8/31を除きます）。
- ◆開催日とテーマは、月ごとにイベントチラシ、Webサイト、Xにてお知らせします。
- ◆参加には入館券が必要です。◆参加回数に応じて記念品を贈呈します。

【記念品】

- ★奇数回 入館券1枚
- ★6・10・14・18回
お好きな図録1冊（参考館発行）
- ★22回 A・B・Cから1つ選択
A：洋食Katsuiお食事券1,000円分
B：キャラメルマーケットお食事券1,000円分
C：天理カレー2個

開館時間：午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）

入館料：大人500円／団体(20名以上)400円／小・中・高生300円（学校単位の団体無料・要事前申込）

※障がい者とその介護者各1名は無料となります。障がい者手帳等またはミライROIDをご提示下さい。

天理参考館
寄付のご案内

天理参考館では皆様からの寄付をお願いしております。
詳細は右記QRコードから専用サイトをご覧ください。



世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学 附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250番地

TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721

URL <https://www.sankokan.jp/>